

【別紙】第31回勤労者短観（2016年4月調査）の訂正箇所

連合総研『第31回 勤労者短観—連合総研・第31回「勤労者の仕事と暮らしについてのアンケート」調査報告書』19ページ下の図表と説明文、及び20ページ上の図表と説明文
 ※以下の正誤表のとおり、訂正いたします。HP上のデータは差し替え済みです。

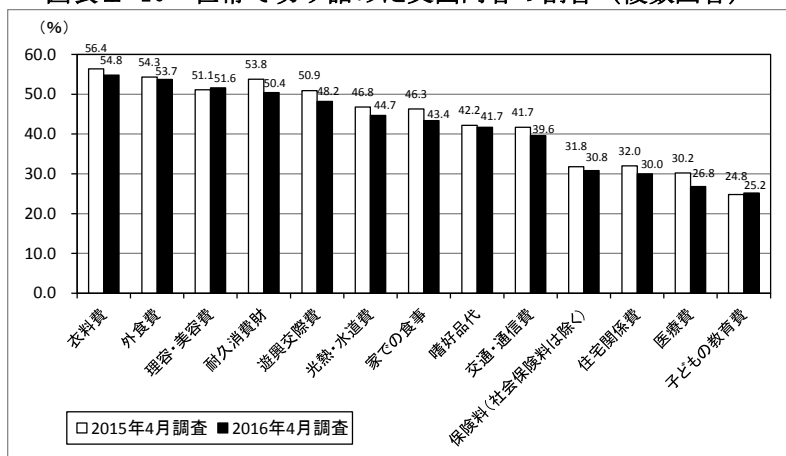
① 19ページ下の図表Ⅱ-10とその説明文について

- 2016年4月調査の各費目について、「該当する支出はない」との回答を除いたものを分母として割合を計算すべきところを、「該当する支出はない」との回答を除かない全数を分母として割合を計算してしまっていた。このため、黒色の棒グラフの数値を訂正するとともに、これに対応する説明文も一部修正することとした。
- 2015年4月調査の外食費の数値について、記載ミス(正 54.3%←誤 54.2%)があった。

【正】

●衣料費、外食費、理容・美容費などを切り詰める世帯が多い(QT5)

図表Ⅱ-10 世帯で切り詰めた支出内容の割合（複数回答）



衣料費、外食費、理容・美容費などについて支出を切り詰める世帯が多い。
 一方で、**理容・美容費と子どもの教育費を除く**全ての費目で前回調査（2015年4月調査）よりも支出の切り詰めを行っている割合が低下している。

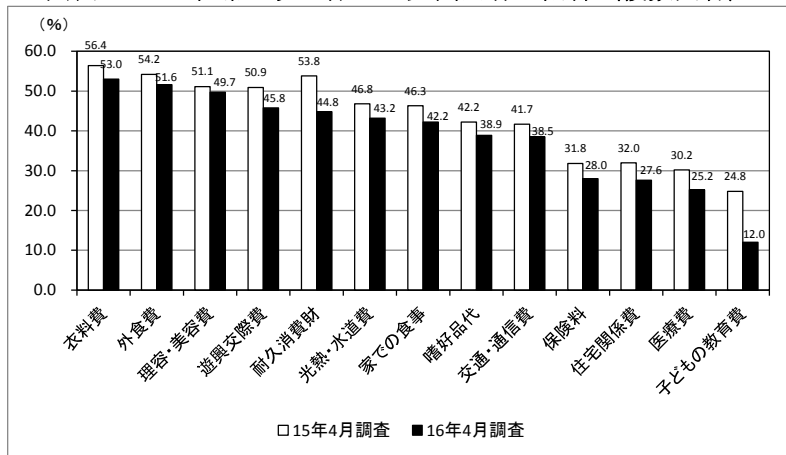
(注1) 各費目について、「該当する支出はない」との回答を除いたうち、「切り詰めている」と回答した割合を示している
 (注2) 本調査(2016年4月調査)において、切り詰めたという回答の割合が高い順に左から並べた



【誤】

●衣料費、外食費、理容・美容費などを切り詰める世帯が多い(QT5)

図表Ⅱ-10 世帯で切り詰めた支出内容の割合（複数回答）



衣料費、外食費、理容・美容費などについて支出を切り詰める世帯が多い。
 一方で、**全ての費目**で前回調査（2015年4月調査）よりも支出の切り詰めを行っている割合が低下している。

(注1) 各費目について、「該当する支出はない」との回答を除いたうち、「切り詰めている」と回答した割合を示している
 (注2) 本調査(2016年4月調査)において、切り詰めたという回答の割合が高い順に左から並べた

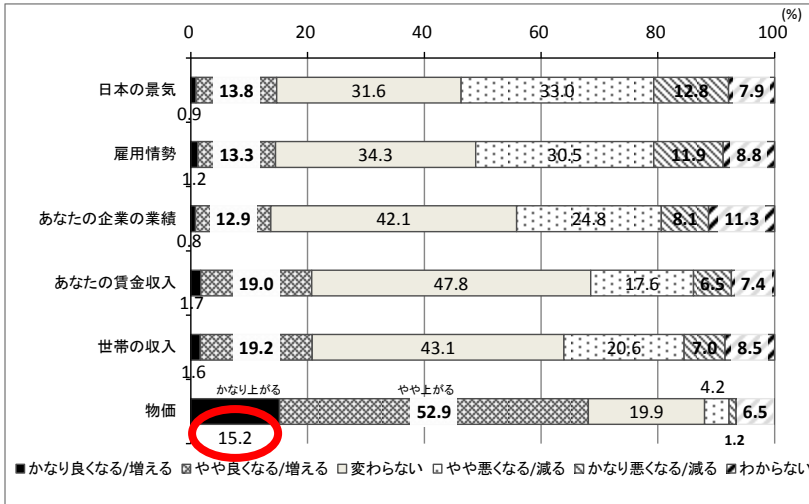
② 20 ページ上の図表Ⅲ-1 とその説明文について

- ・ 物価が「かなり上がる」と回答した割合の記載ミス(正 15.2%←誤 23.2%)があった。これは、この値だけ、2015年4月調査の値の表記のままとなってしまうため生じたもの。
- ・ これに対応する説明文中の表現も修正する。具体的には、「<上がる>とする割合が、76.1%」と記載していたところを、「<上がる>とする割合が、68.1%」と修正する。

【正】

● 3年後について景気上昇、賃金収入改善への期待は低い(QT6、QT7)

図表Ⅲ-1 現在と比べた3年後の経済の状況 (20~54歳)



3年後の景気について、今より<良くなる>との回答は14.7%にとどまり、自身の勤め先企業の業績や自身の賃金、世帯収入については「変わらない」とする回答が多い。

また、3年後の物価については、<上がる>とする割合が、**68.1%**となっている。

(注1) <増える>=「かなり増える」+「やや増える」、<減る>=「かなり減る」+「やや減る」、<良くなる>=「かなり良くなる」+「やや良くなる」、<悪くなる>=「かなり悪くなる」+「やや悪くなる」、<上がる>=「かなり上がる」+「やや上がる」、<下がる>=「かなり下がる」+「やや下がる」

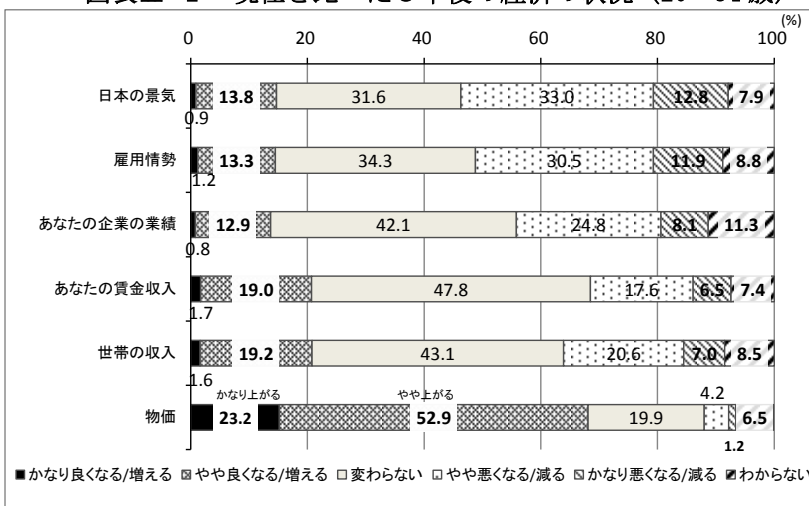
(注2) N=1686



【誤】

● 3年後について景気上昇、賃金収入改善への期待は低い(QT6、QT7)

図表Ⅲ-1 現在と比べた3年後の経済の状況 (20~54歳)



3年後の景気について、今より<良くなる>との回答は14.7%にとどまり、自身の勤め先企業の業績や自身の賃金、世帯収入については「変わらない」とする回答が多い。

また、3年後の物価については、<上がる>とする割合が、**76.1%**となっている。

(注1) <増える>=「かなり増える」+「やや増える」、<減る>=「かなり減る」+「やや減る」、<良くなる>=「かなり良くなる」+「やや良くなる」、<悪くなる>=「かなり悪くなる」+「やや悪くなる」、<上がる>=「かなり上がる」+「やや上がる」、<下がる>=「かなり下がる」+「やや下がる」

(注2) N=1686